

第 25 回教育サロン in 関西 アンケート集計結果

2015 年 5 月

教育サロン事務局



教育サロンの思想

5つのやくそく

1. まなびをたいせつに
2. みんなでつくる
3. ちがいをたのしむ
4. じぶんのきもちにしょうじきに
5. こころをひらく

第25回教育サロン in 関西 教員×職員×学生
困難から創造する授業スタイル
～素直になれば教室の景色は変わる～

【実施日】

2015年5月23日（土）13：00～17：30

【ご参加者数】

40名

【アンケート回答者数】

34名

【会場】

大阪商業大学 U-メディアセンター GATEWAY 4階

【プログラム】

第25回教育サロンin関西

本日のプログラム

司会：摂南大学 鶴坂貴恵氏

13:00 開会の挨拶

発起人：追手門学院大学 学長補佐 池田輝政氏
福岡大学 工学部 山口住夫氏

13:10 第一部 実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」

15:00 第二部 話題提供

大阪商業大学 経済学部 伊東真一氏

16:00 第三部 話題提供を踏まえてのグループ討議・ふりかえり・
全体共有

17:20 閉会の挨拶

大阪商業大学 孫 飛舟氏



第25回教育サロンin関西

困難から創造する授業スタイル

—素直になれば、教室の景色は変わる—

大阪商業大学
経済学部経済学科教授
伊東眞一

伊東の授業スタイル(その1)

(1)授業準備

- ① 前回授業で学生から出た質問を全て入力し、全ての質問に回答したレジュメの作成(資料2)
- ② 前回授業の小テストの優秀回答を入力したレジュメの作成(資料3)
- ③ 次回授業ノートの確認
- ④ 次回授業のレジュメを作成(資料4)
- ⑤ 次回授業の組み立て表を作成(資料5)
- ⑥ レジュメ、リアクションペーパーの印刷

伊東の授業スタイル(その2)

(2)授業が始まる前

- ①ウイズダムの朗唱(後述)
- ②授業ノートや授業組み立て表を確認
- ③時間**15分前**には教室に入室
- ④配布物を長机に並べる
- ⑤教室に入ってくる一人ひとりに挨拶をしながらリアクションペーパーを配布(資料1)
- ⑥チャイムと同時に授業を始める

伊東の授業スタイル(その3)

(3)授業

- ①前回の振り返りをしてから、小テストの結果についてコメントし、前回授業と今回の授業の繋がりを説明する
- ②授業内容は、起承転結を意識しながらすすめ、1回につき必ず1テーマで進めるようにする
- ③授業中に授業内容に関連する問題を出し、発表点を与える
- ④授業の最中、あるいは最後に「小テスト」と称して、テーマに対する自分の考え方を**100字以上**記述してもらう。科目によってはグループワークも実施



伊東の授業スタイル(その4)

(4)授業終了後

- ①リアクションペーパーを使って、出席確認システムに出欠を入力する
- ②成績管理をするための自前の出席管理データに出欠を入力する
- ③リアクションペーパーの点や発表点の入力
- ④全員の授業に対する感想を読む

以上の作業をリストに○をつけながらすすめる
(資料6)

何故こんな授業スタイルになったのか (その1)

(1)リアクションペーパーの導入について

- ①事の始まり
 - ・ある大学で学生自治会が授業評価アンケートを実施
 - ・「難しすぎる授業」と「易しすぎる授業」の両方に伊東の科目が載る→激怒→荒れ→授業破壊
- ②改善
 - ・2000年頃のTL教育研究会で愛媛大学の脇本忠明教授が実践報告・・・メールで質問受け付け、メールで回答
 - ・導入してみるが・・・

- ・誰もメールしてくれない
- ・そこでリアクションペーパーの導入
- a)最初は授業の感想と質問を書いてもらう
- b)ペーパーを作成し、出席点として配布
→質問や苦情が続出
- c)徐々に「特になし」が増加→小テスト導入→失敗
- d)感想を記述を強制すると、リアクションペーパーを
もらってすぐにレジュメに記載されていることを丸写
しする輩の出現
- e)感想を4行以上2点とする→聴かないと書けない
- f)小テストで自分の考えを書かせる→コピペできない

③結果

- ・出席率の向上(資料7)
- ・「あいさつしてくれるので安心する」との意見
- ・「質問に丁寧に答えてくれるし、自分がどこが分
からないかも分かってうれしい」との意見
- ・小テストでは「他人の考え方が分かって面白い」
「小文章の書き方がわかり参考になる」との意見
- ・もちろん「苦情」もたくさん出てくる
「リアクションペーパー事態が無意味、面倒」
「どうせ読んでいないでしょ」
「つまらない質問に答えるな、先に進めろ」など



何故こんな授業スタイルになったのか (その2)

(2)発表点の導入について

①事の始まり

- ・ある大学で**500**人登録の授業を担当
- ・うるさくて授業にならない

②改善

- ・授業を聞かせるためとっさに考えたのが発表点
- ・一瞬にして静かになる

③結果

- ・教室が静かになり、集中できる環境が整う
- ・「途中で質問されるので、寝てられない」という意見も
- ・積極的に発言する学生が現れる
- ・勉強するのもテストも苦手な学生でも、授業に参加すれば何とかできるので一生懸命聴いてくれる
- ・「双方向授業なので楽しい」という感想も
- ・学生の知識がどれくらいあるのかを知ることができる
- ・ただし苦情もある→「ふざけている」「まじめに授業をしろ」「何でも点数をだすな」「時間の無駄」など

何故こんな授業スタイルになったのか (その3)

(3)レジュメの配布について

①事の始まり

- ・もともとは面倒臭いのでやっていなかった
- ・アスペルガー症候群と思われる学生の履修

②改善

- ・アスペルガー症候群の特徴:①身体をゆする、②教室内をうろつく、③長時間話を聴くのは苦手
- 一方で①興味を持てば集中する、②文字にすると理解する、③書き写す事は得意
- ・そこで彼の長所を活かすためにレジュメを作成

③結果

- ・アスペルガー症候群と思われる学生が集中して授業を聴くようになる
- ・「レジュメがあると、授業の流れが分かるから助かる」「空欄があるので、しっかり聴かないといけないので集中できる」と好評
- ・もちろん苦情もある
書くことが多いので手が疲れる(笑)



何故ここまでやるのか(その1)

(1)TL教育研究会での学び

- ・TL教育研究会では「教育とは子どもの可能性を引き出すこと」ととらえる
- ・「試練は呼びかけ」「問題はあなたに解決して欲しくてあなたの前に現れた」という捉え方

- ・学生を変えようとしても無駄
- ・「私が変わります」でないと問題は解決しない
- ・「先生が変われば学生が変わる」という考え
(資料8、資料9)

何故ここまでやるのか(その2)

(2)TL教育研究会でのウイズダムへの取り組み

- ・目標の設定
(伊東の2015年度前期講義の目標)
- 学生の皆さんが元気になっていく講義の創造。
 - ①「楽しくなければ講義じゃない」「楽しくなければ学問じゃない」のモットーを思い出し、そのような講義を再構築していく。
 - ②「遊びながら学ぶ」講義の創造。知る歓び、分かる歓びに満ち溢れた講義の創造。
 - ③学び合い、支え合う授業の構築。三方向授業の模索をする。

■ 建学の理念を体現した講義の構築

- ① 講義のマナーを守り、集中して講義に参加する「思いやりと礼節」の実現
- ② 各科目に関する基本的な知識を身に付ける「基礎的実学」の実現
- ③ その基本的な知識を基に、様々な事象を学問的な側面のみならず、多様な視点から見て理解する「柔軟な思考力」の実現
- ④ 様々な問題を解決するための手法を獲得し、痛みを歓びに変えていくことができる「楽しい生き方」の実現
- ⑤ そして「世に役立つ人物」となる第一歩になる講義の実現

何故ここまでやるのか(その3)

(3)教育サロンでの学び

- ・ 2012年4月にラーニングバリュー社の自己の探求 I を体験 → ファシリテーターの行動に衝撃
- ・ 松山大学の熊谷太郎先生が200人教室でグループワークをやっておられると聴く → 「やってもいいんだ!」「やれるんだ!」
- ・ 関西大学の長谷川伸先生より「場造りを徹底的にやるべき」と教えていただく → 初回授業に「授業のルール」を説明する(資料10)



まとめ

- 授業が上手くいかないのは「学生が駄目だから」ではなく、「自分が未熟だから」と捉えることが大切
- 自分の未熟、特に学生に対する考え方を変わると、学生との関わりが変わり、授業に集中してくれるようになる
- そのためには、ちょっとした工夫が必要。但し工夫は自分が出来る範囲で良い。それだけで学生諸君は変わってくれる
(小難しい「技」や「術」は必要ない)

補足：参考文献？

- [1]ノエル・エントウィスル著、山口栄一訳『学生の理解を重視する大学授業』玉川大学出版部、2010年。(定価：3300円+税)
- [2]石川一喜・小貫仁編『教育ファシリテーターになろう！』弘文堂、2015年。(定価：2500円+税)

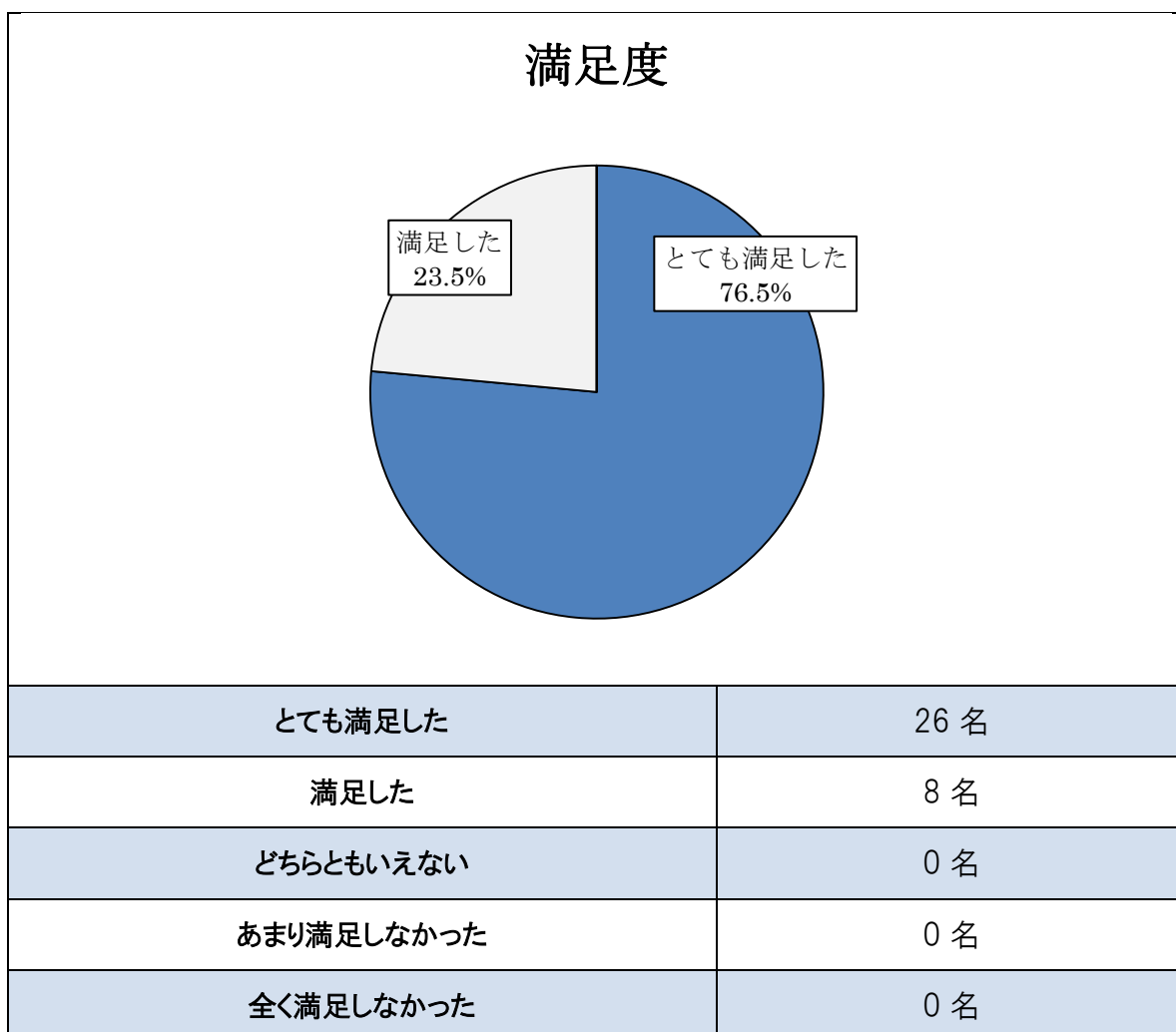


集計結果

第 25 回教育サロン in 関西 アンケート集計

※頂いたフリーコメントは、記載頂いた内容そのままを再現しています。

1. 本日の満足度について教えてください。また、その理由についてお聞かせください。



2. 第一部（あなたの学習スタイル、記者会見）について、感じたこと をご自由にお書き下さい。

- ・学習スタイルは久々にやってみて、改めて考えさせられました。今さら変わらないけれど。
- ・学習スタイルおもしろかったです。
- ・初めてお会いした先生方とも有意義な情報交換ができました。
- ・学習スタイルは同じ職業であったとしても人によって様々であることを実感しました。
- ・何回目かの体験でいつも楽しくやらせて頂いています。
- ・メンバーが親しくなった。
- ・記者会見はいつも以上にあっという間におわってしまいました。
- ・話が弾んで、コミュニケーションがとれたことが良かったです。
- ・どちらも初めてだったので、面白いプログラムだと思った。
- ・第2部、第3部を円滑に進めるために、不可欠なものであったと思う。
- ・同じグループのメンバーの意欲的な取り組みが、効果的であった。
- ・質問する力を磨かなければならないと感じました。気持ちよく話をしてもらえるように、内容や言葉の選び方を勉強したいと思います。
- ・相変わらず楽しい PGM です。
- ・グループのメンバーの方々には心をひらく、いいきっかけとなり大変おもしろかった。
- ・面白いですが、最初は少し恥ずかしかったのですが、徐々に周りの方と打ちとけて、仲良くなりました。
- ・記者会見により、とても話しやすい場になりました。今後の学生との講義の参考にしたいです。
- ・教育サロンの参加は3回目ですが、毎回自身の傾向が若干変化していることに気づきました。記者会見も楽しい時間となりました。
- ・今回は楽しかった。やはり関西だからか。
- ・学習スタイルも大きく違ったメンバーが集まっているが、今回のメンバーは意見が似ていた。
- ・行動タイプだったので、あてはまっていた。人によってちがうのがおもしろかった。
- ・あまりいらぬ。少し長く感じた。
- ・前回と変わりませんでした。
- ・終わり近くで参加しました。チームに参加できてよかったです。
- ・記者会見はゼミ等の少人数の授業で使えると思った。
- ・記者会見、面白い試みでした。学習スタイルも自分が気づかない面を知ることができました。
- ・自分の learning style がわかって面白かった。
- ・記者会見はもっと1人当たりの時間（最低10分）がほしいなあ。
- ・現段階における、自分の学習スタイルが可視化でき、自分が注力していることがよく分かりました。記者会見は自分の好きなことが話せて心地よかったです（笑）

第 25 回教育サロン in 関西 アンケート集計



- ・自分について知ることができ、参考になってよかった。こういった自己紹介スキル・方法をいろんな場面でとり入れていきたい。
- ・学習スタイルはとても刺激的だった。誰一人として同じ形の人はいなかったのがとてもおもしろかった。記者会見では、初対面のみなさんといろんな話ができてよかった。
- ・前回参加させて頂いた時からグラフが変化しており、自身の取り組み方も変化していることを感じた。
- ・通常運転でいつもの自分を確認出来た。
- ・肩書なしの互いのコミュニケーションを楽しむことができました。

3. 第二部（伊東先生からの話題提供）について感じたことを

自由にお書きください。

- ・「教師が変わる」という勇気のいる課題をクリアされたことが良く理解できました。それにしても使われたエネルギーの質と量は半端ではないと感服しました。
- ・伊東先生のお話には圧倒されました。教育への情熱にあふれていて感動しました。
- ・伊東先生の熱意がきっと伝わると思いますし、話を聞いた一地域人として、学校現場へ発信して参ります。
- ・感じる事がいろいろあり過ぎて書き切れませんが、伊東先生の取り組まれている具体的なこと、そして思いを知ることが出来て、本当に貴重な機会であったと思います。
- ・伊東先生が一生懸命に教育に向かいあっていることに、感激しました。
- ・思いを形にするむずかしさと伊東先生のガンバリに感動しました。
- ・現場の話を聞いて有意義だった。
- ・ヒントをたくさんもらえました。実際にいくつか試してみたいです。うまくいきそうな気がします。
- ・伊東先生の実践記録が素晴らしい。参考になったことが多々あり、次回自分の授業に生かしてまいります。ありがとうございました。
- ・感動した。使える情報ばかりだった。
- ・自分ではなかなか到達できないが、何とか少しずつでも良い授業、良い教育ができたらと思う。テクニカルな部分もパッションの部分も両方きけてよかった。結局、テクニカルとパッションの両者が重要なのだと思う。
- ・率直な自己開示に接することが出来て、勇気付けられた。教員としてのモラルのありようについて、更に深められるチャンスになる。
- ・伊東先生の熱いお気持ちが存分に伝わってきました。何をやるにしても大事なことは主体性と前向きな気持ちであると改めて認識しました。
- ・ついうっかり泣いてしまいました。すいません。不覚！
- ・授業1コマを準備するにあたり、先生がこれほどまでに労力と思いをかけていることを知り、衝撃を受けました。伊東先生の講義を受ける学生は幸せだと思います。
- ・伊東先生に感謝です。すごく良い刺激となりました。
- ・授業改善のため工夫、学生との信頼関係をつくる努力に感動しました。準備にかける想いは学生にも伝わると感じます。
- ・伊東先生の授業や学生に対する向き合われる姿勢から、教育に対するあり方を考えさせられる機会となりました。
- ・伊東先生の人柄に共感。自分と同じ考えで安心。
- ・これぞプロの教員という姿を見せていただきました。



- ・諦めずに自分が変わることを選択された伊東さんは素晴らしいと思いました。これからも共に目指す同志を増やして行ってほしい。
- ・有意義な内容であった。
- ・熱いお話ありがとうございました。
- ・伊東先生のお話、とても心に届きました。これからも頑張っていこうと思います。
- ・伊東先生の授業に対する熱意を感じました。自分自身にとっては、講義時間と学生の作業のバランスが問題だと感じました。
- ・学生に向き合う姿勢、wisdom、建学の精神の浸透など、多くの取り組みに感銘を受けました。
- ・伊東先生の真摯なお姿に拍手です！
- ・アクティブラーニングを導入しないと、とするのではなく、学生と本当に向き合うことができれば、授業は自然に良いものになっていく。
- ・準備にこれだけ労力と時間を費やせるのか、コストパフォーマンスは・・・etc。いろいろと考えさせられる時間となりました。
- ・伊東先生は大変素晴らしいのですが、本学の教員へ何かを・・・となるとハードルが高いです。
- ・伊東先生の創意工夫に感心した。多様な学生がいる中で、教員・職員・学生がともに楽しい授業を作っていかなければならないと感じた。
- ・相方向・レジメの重要性。
- ・何より伊東先生の熱意に感動した。
- ・教育のためにここまで時間を投じられていることに敬服しました。

4. 第三部（話題提供を踏まえてのグループ討議・全体共有）について、 感じたことを自由にお書きください。

- ・メンバーで自由に議論するなかで、伊東先生の取り組みの本質が明確になりました。
- ・大学の現状、学生の現状など確認ができました。
- ・大学の先生の考え方がよかった。高橋先生が先生方も今の学生をわかる必要性を言われていたのが印象的。
- ・雑談のような意見交換になってしまいましたが、明日からの自分の行動を考え直すきっかけを多く得ました。
- ・いろいろな意見を知ることができて大変良かったです。
- ・いろいろな立場での考えを聞いて良かったです。
- ・メンバーの様々な見解を聞いて有益だった。
- ・もっと話を続けたいくらい活発でした。
- ・いろいろ話題が出て、興味深かったです。初対面の先生、職員の方々とも気さくにお話（意見交換）できて良かったと思います。
- ・他の皆さんの感想・考えが共有できて、参考になった。
- ・真剣に教育について考える教職員の方々の意見をうかがうことができた。
- ・グループ内のディスカッションも多岐に自由に闊達に進んだ。メンバーに恵まれた事も大きいですが、事務局の準備の周到さも感じられた。
- ・一回の授業を成立させるために先生方がどのようなご苦勞をされているかを垣間見ることができました。先生方の豊富なご経験をうかがうことができたこと、職員としての立場や想いをお話しできたことも貴重でした。
- ・たくさんアドバイスをもらえて安心しました。特に池田先生に「同志」と言ってもらえたことは光栄です。有難うございました。
- ・普段中々聞けない教育、学生、授業のホンネを聞くことができ、事務職員の私であっても、明日からの業務にいかしていけると感じました。
- ・議論を通して、またいろいろなご意見が参考になりました。
- ・学生との信頼関係は職員としても重要なことなので、本日の意見を参考にしていきたいと思えます。
- ・ディスカッションではいろいろな立場の参加者のご意見を伺うことができて良かったです。
- ・ほぼ共感と感動。
- ・人間性が出る時間ですね。
- ・大切なのは、自分が教育を通して何を実現したいか、情熱があればあるほど、自分の取り組みが変わる。だからこそ私は、一人でも多くの人が、自分の命を何につかうのか高い志を持つ人を増やすことを実現していきたい！
- ・あつい議論ができた。



- ・Do が強いせいか、伊東先生の取り組みに関する背景を考察するまでに至りませんでした。様々な意見を聞くことができ、有意義でした。少し時間が短く感じました。
- ・多くの疑問について、多くの方の考え方を聞くことができてよかったです。
- ・他大学の先生方に普段自分自身を感じている悩みをお話することができたのでよかった。
- ・自分たちのグループで各々がかかえている問題について、具体的に話しあえてよかったです。
- ・皆さんの悩みが伺えて良かったです。
- ・トピックがありすぎて、時間が足りなかったか。テーマ設定をすれば良かったかもしれない。少し私自身がしゃべりすぎたと反省。
- ・同じグループの先生方が考えていらっしゃる“教育”やその効果について知ることができ、刺激を受けました。
- ・様々な立場の方と話ができ本当によかったです。違うグループの方とも話をしてみたかったです。
- ・大学授業の現状について、課題等も含め共有できよかった。
- ・教員、職員、学生、様々な意見が聞くことができ、参考になる時間であった。
- ・教員、職員、学生と様々な視点からの議論が出来、為になった。
- ・教員が学生のためにここまでして、学生は自らが、主体的に自習するような学びは育っているのが不安に思いました。

5. 「教育サロン」という試みについて、感じたことを自由にお書き ください。

- ・多様で個性あ人々が自主的に集まるこの会は創造的な何かがいつも生まれるように思います。
- ・参加者が皆さんやる気があります。義務ではなくたのしくやろうという空気感がありがたかった。
- ・すばらしい→高校・中小版もヨロシクです。
- ・今回も大変ありがとうございました。これからもこの取り組みを継続していただければと思います。
- ・同じ考えの方と出会うことができるため、貴重な場であると感じました。
- ・いつもながら大変有意義に感じています。
- ・アットホームな雰囲気良かった。
- ・さらに広げていきたいです。
- ・興味深いところみだと思います。
- ・初めて参加したが、学内の FD 委員会よりもはるかに有意義である。
- ・良い交流の場だと思う。
- ・技術論に拘泥しない意見交換の場として意義深いものがある。
- ・楽しく、気づきがたくさんあります。何より、各大学に熱い想いを持たれている教職員の方がこんなにもいっしょにやることに元気をもらえました。
- ・今度は他の人の話をいっぱい聞きたい！
- ・非常に良い取り組みだと思えます。是非継続して参加してみたいと思います。
- ・様々な大学から参加されて意見交換できるのは素晴らしいと思えます。
- ・かなり雰囲気と内容は充実してきたと思う。毎回新しい安心を得られる。
- ・授業トピックを聞けることがすばらしい。
- ・このように教育について語る環境は必ずこれからもつくっていく必要がある。もっと増やすべき！！教授の方々の志を語る場が増えたら、もっとよりよい教育が実現できる！！
- ・大学の教育の教え方という点がきけてよかった。
- ・今回で2回目ですが、とても勉強になり、刺激になります。
- ・大学の教職員の間でも行ってみたいです。
- ・同じ大学、同じ学部の教員が集まらないので、それがかえって意見交換をしやすくする条件となっているように感じた。
- ・素直な試みです。ここではお互いに「さん」で呼べばいいと思いますが、いかがでしょう。肩書を取るのであれば実践してみてもいいですか？
- ・みなさんが自由に意見交換できる場で良いと思いました。
- ・これだけのメンバーが集まっているのなら、話題提供の時間はかえっていらなくてもいいかもしれない。半日のプログラムではなく、AM+PM でやれたらいいなあ。
- ・とてもいい取り組みだと思えます。前向きな方が一人でも多くなって頂けるといいと思います。

第 25 回教育サロン in 関西 アンケート集計



- ・他大学の教職員と情報・意見交換できる貴重な機会でした。ありがとうございました。
- ・他学の先進的又ユニークな取り組みが知れて、楽しんで参加しております。
- ・knotworking という点で、立場の違う方々と話せてよかったです。Erziehung よりも Ausbildung するところまで大学教育を進んでいけることを期待しています。

6. その他、ご意見など自由にお書きください。

- ・ 何度もお誘いを受けながら参加できていませんでした。またチャンスがあれば参加させていただきます。ありがとうございました。
- ・ 新しい出会いが多くありました。参加メンバーが増え、入れ替えがあることも大切ですね。今後とも宜しくをお願いします。
- ・ 午前中から始めても良いのかと思いました。一日じっくり実施するとさらに充実した時間になると感じました。
- ・ ある種の気付きを与えていただきました。ありがとうございます。
- ・ 今後も参加したい。
- ・ 週一くらいで（無理なら月一くらいで）どっかでたわいもなく話せる場があると良いですね。
- ・ 学生の参加は、今回少なかったように思います。学生の立場からのお話もすごく興味があり、今後そういう機会があれば良いと思います。
- ・ グループディスカッションで授業メソッド交流もしてみたい。
- ・ もう少し時間が短くてもよいと感じた。
- ・ お茶菓子があれば Better。
- ・ 今後も案内等送って頂けると嬉しいです。